

かけはし

第13号
令和3年3月19日
宮若西小学校
学校通信
文責(校長：野副)

令和2年度の修了式を前に・・・

今年、一年間、コロナに悩まされましたが、近隣の市町に休校になる学校が出ている中、宮若市の小・中学校は、一校も休校になることなく、みんなよく頑張ってきました。

来週の水曜日は、今の学年の教育課程が修了する日です。この一年間、児童の皆さんは、たくさんの人にお世話になったはずだと思います。そういう方々に、感謝の気持ちを言葉で伝えてほしいと思います。

担任の先生、担任以外の先生、習い事の指導者、家族、少し照れくさいかもしれませんが、家に帰ったら、お家の人に「一年間ありがとうございました。」とお礼が言えたらいいですね。

今年の春休みは、十二日間です。春休みは、次の学年に向けて、持ち物の整理、そして心の準備が必要です。四月六日、また新しい気持ちで、学校に来てほしいと思います。

本年度の卒業式

一日、八十八名の六年生が小学校を卒業しました。コロナ禍にあるため、今年の卒業式も昨年同様、式の時間は三十分程度で来賓や五年生は参加しないこととなりました。しかし、本校は、中学校の卒業式に準じて、呼びかけをしない代わりに、五年生代表三名による送辞、六年生代表三名による答辞を入れました。卒業証書を受け取る姿はどの子も素晴らしく、六年生として有終の美を飾りました。緊張感のある立派な卒業式でした。本校は小中一貫校です。で、八十八名中七十九名は、七年生として本校に通うこととなります。卒業しても、小学生の先輩として、何らかの形で皆さんのお世話をしてくれることでしょう。



サケの稚魚の放流

本校では、毎年四年生が犬鳴川でサケの稚魚の放流をしています。今年も三月十二日(金)の午後に予定していましたが、あいにくの天気で、四年生児童は放流体験ができませんでした。体育館で約三十分間、サケの放流についての話を聞きました。



Q①「なぜこのような活動をしているのか。」

A①「サケを育てて食べるためではない。サケが生きることのできる川にする。」

Q②「サケは、放流した後、どのように育っていくのか。」

A②「海に出て、ベーリング海やアラスカ湾辺りまで行って、敵に襲われなければ、四年後にこの川に戻ってくる。」

Q③「この活動は、誰が行っているのか。」

A③「遠賀川源流サケの会の方が中心となり、遠賀川流域の幼稚園児、小学生、中学生、流域住民に放流体験活動を実施している。」

説明会の後、本校駐車場脇においてあった約二千匹のサケの稚魚を見せてもらいました。見せていただいていると「酸素を送っているけど、少し弱ってきているので、早く放流しないとイケない。」

私が、学校を代表して現地に行き、放流をさせていただきました。宮若西小学校の放流体験は、「原田自治犬鳴会」の方がお世話をしてくださっています。今年も、子どもたちが安全に放流体験ができるように、現地の草刈りや川へ下りる階段を設置していただきました。



本年度の標準学力調査の結果

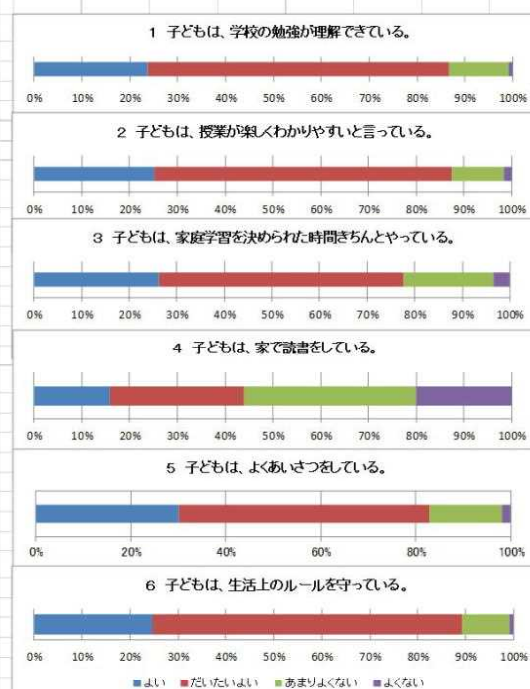
二月上旬に、標準学力調査の結果個票を一人一人に配付いたしました。四・五・六年生は、国語・算数ともに全国平均を上回っています。そして、四・五・六年生ともに、年々標準偏差値が向上しています。

一・二・三年生は、国語・算数ともに全国平均を若干下回っていました。学力調査結果を分析し、今後力を入れて取り組むべき内容を検討しました。落ち着いた学習集団の中で日常の授業を充実させることにより、学力を向上させていきたいと思えます。

学校評価(保護者アンケートより)

昨年十二月に児童・保護者を対象にアンケート調査を実施しました。保護者アンケートの結果の一部をご紹介します。読書習慣の形成は、学校と家庭の連携が必要です。

令和2年度 保護者アンケート 結果



4月の行事予定

- 4月 6日(火) 始業式
- 7日(水) PTA新旧役員理事会
- 8日(木) 中学校入学式
- 9日(金) 小学校入学式
- 14日(水) 交通安全教室 1年生給食開始
- 16日(金) 歓迎遠足

※家庭訪問は、中止。
必要に応じて実施。
※PTA総会は未定。



